

平成 26 年 12 月 2 日

各 位

株 式 会 社 ア ク ロ デ ィ ア  
代 表 取 締 役 社 長 堤 純 也  
(コード番号：3823 東証マザーズ)  
問 合 せ 先： 取 締 役 副 社 長 國 吉 芳 夫  
電 話 番 号： ( 0 3 ) 5 7 9 3 - 1 3 0 0

### 募集新株予約権（有償ストック・オプション）の発行に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月 2 日開催の当社取締役会において、会社法第 236 条、第 238 条及び第 240 条の規定に基づき、当社の取締役、監査役及び従業員に対し、下記のとおり新株予約権を発行することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

この度発行することを決議した新株予約権は、平成 24 年 12 月 18 日開催の当社取締役会において発行決議した新株予約権 10,000 個が、その行使条件のひとつであった平成 26 年 8 月期の経常利益の計上が出来なかったことから平成 26 年 11 月 28 日に消滅したため、主としてその際に対象者となった役職員に対して再度付与するものです。なお、本件は新株予約権を引き受ける者に対して公正価格にて有償で発行するものであり、特に有利な条件ではないことから、株主総会の承認を得ることなく実施いたします。

本有償新株予約権がすべて行使された場合、発行決議日現在の発行済株式総数の 13,379,447 株に対し、最大で 7.47%の希薄化、また、平成 26 年 6 月 24 日開催の当社取締役会において発行決議した新株予約権（以下、「既発行の新株予約権」という）と合算した場合、最大 10.61%の希薄化が生じることとなります。しかしながら、本新株予約権は、あらかじめ定める利益目標の達成が行使条件とされており、その目標が達成されることは、当社の企業価値・株主価値の向上に資するものであり、既存株主の利益にも貢献できるものと認識しております。従って、本新株予約権の発行による株式の希薄化の規模は合理的な範囲のものと考えております。

なお、本日決議の新株予約権の行使条件につきましては、既発行の新株予約権の条件として定めた業績目標（平成 27 年 8 月期から平成 28 年 8 月期までのいずれかの期の経常利益が 150 百万円を超過している場合のみ新株予約権を行使することができる。）の 1 期後である平成 28 年 8 月期の業績からを対象としており、当社は早期に赤字を解消し、継続的に経常利益 150 百万円以上を計上することを目標として、条件設定しております。

#### ・新株予約権の募集の目的及び理由

中長期的な当社の業績拡大及び企業価値の増大を目指すにあたり、より一層意欲及び士気を向上させ、当社の結束力をさらに高めることを目的として、当社の取締役、監査役及び従業員に対して、有

償にて新株予約権を発行するものであります。

なお、本件は「 . 新株予約権の発行要項 3 . 新株予約権の内容 ( 6 ) 新株予約権の行使の条件」に記載のとおり、当社の業績及び株価があらかじめ定める基準を達成した場合にのみ権利行使が可能となります。

## ・新株予約権の発行要項

### 1 . 新株予約権の数

10,000 個

なお、本新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式の総数は、当社普通株式 1,000,000 株とし、下記 3 . ( 1 ) により本新株予約権にかかる付与株式数が調整された場合は、調整後付与株式数に本新株予約権の数を乗じた数とする。

### 2 . 新株予約権と引換えに払い込む金銭

本新株予約権 1 個当たりの発行価額は、370 円とする。

なお、当該金額は、東京証券取引所における前日終値 370 円/株、株価変動性 100.40%、配当利回り 0%、無リスク利率 0.051% や本新株予約権の発行要項に定められた条件 ( 行使価額 370 円/株、満期までの期間 4 年、行使条件 ) に基づいて、第三者評価機関である株式会社ストリームが、当社の株価情報等を考慮して、一般的なオプション価格算定モデルであるモンテカルロ・シミュレーションによって算出した結果を参考に、当社においても検討した結果、本件算定価額と同額であり、特に有利な金額に該当しないと判断したことから決定したものである。

### 3 . 新株予約権の内容

#### ( 1 ) 新株予約権の目的である株式の種類及び数

本新株予約権 1 個当たりの目的である株式の数 ( 以下、「付与株式数」という。 ) は、当社普通株式 100 株とし、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式である。

なお、付与株式数は、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割 ( 当社普通株式の無償割当てを含む。以下同じ。 ) または株式併合を行う場合、次の算式により調整されるものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で行使されていない新株予約権の目的である株式の数についてのみ行われ、調整の結果生じる 1 株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。

調整後付与株式数 = 調整前付与株式数 × 分割 ( または併合 ) の比率

また、本新株予約権の割当日後、当社が合併、会社分割または資本金の額の減少を行う場合その他これらの場合に準じ付与株式数の調整を必要とする場合には、合理的な範囲で、付与株式数は適切に調整されるものとする。

#### ( 2 ) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額または算定方法

本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、1 株当たりの払込金額 ( 以下、「行使価額」という。 ) に、付与株式数を乗じた金額とする。

行使価額は、金 370 円とする。

なお、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による 1 円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\quad}{\text{分割（または併合）の比率}}$$

また、本新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分並びに株式交換による自己株式の移転の場合を除く。）次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の1株当たりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当社普通株式にかかる発行済株式総数から当社普通株式にかかる自己株式数を控除した数とし、また、当社普通株式にかかる自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替えるものとする。

さらに、上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に行使価額の調整を行うことができるものとする。

### （3）新株予約権を行使することができる期間

本新株予約権を行使することができる期間（以下、「行使期間」という）は、平成28年12月1日から平成30年12月18日までとする。

### （4）増加する資本金及び資本準備金に関する事項

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とする。計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記記載の資本金等増加限度額から、上記に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

### （5）譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による本新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要するものとする。

### （6）新株予約権の行使の条件

新株予約権者は、下記に加え、当社が金融商品取引法に基づき提出した有価証券報告書に記載された連結損益計算書（連結損益計算書を作成していない場合は、損益計算書）において平成28年8月期から平成29年8月期までのいずれかの期の経常利益が150百万円を超過している場合のみ、新株予約権を行使することができる。なお、国際財務報告基準の適用等により参照すべき経常利益の概念に重要な変更があった場合には、別途参照すべき指標を取締役会にて定めるものとする。

新株予約権者は、上記に加え、新株予約権の割当日から本新株予約権の行使期間の終期に至るまでの間において、金融商品取引所における当社普通株式の普通取引終値が一度でも金700円を上回った場合に限り、当該日の翌日以降、本件新株予約権を行使することができる。

新株予約権者は、新株予約権の権利行使時においても、当社または当社関係会社の取締役、

監査役または従業員であることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職、その他正当な理由があると取締役会が認めた場合は、この限りではない。

新株予約権者の相続人による本新株予約権の行使は認めない。

各本新株予約権 1 個未満の行使を行うことはできない。

#### 4．新株予約権の割当日

平成 26 年 12 月 19 日

#### 5．新株予約権の取得に関する事項

( 1 ) 当社が消滅会社となる合併契約、当社が分割会社となる会社分割についての分割契約もしくは分割計画、または当社が完全子会社となる株式交換契約もしくは株式移転計画について株主総会の承認（株主総会の承認を要しない場合には取締役会決議）がなされた場合は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、本新株予約権の全部を無償で取得することができる。

( 2 ) 新株予約権者が権利行使をする前に、上記 3.( 6 ) に定める規定により本新株予約権の行使ができなくなった場合は、当社は新株予約権を無償で取得することができる。

#### 6．組織再編行為の際の新株予約権の取扱い

当社が、合併（当社が合併により消滅する場合に限る。）吸収分割、新設分割、株式交換または株式移転（以上を総称して以下、「組織再編行為」という。）を行う場合において、組織再編行為の効力発生日に新株予約権者に対し、それぞれの場合につき、会社法第 236 条第 1 項第 8 号イからホまでに掲げる株式会社（以下、「再編対象会社」という。）の新株予約権を以下の条件に基づきそれぞれ交付することとする。ただし、以下の条件に沿って再編対象会社の新株予約権を交付する旨を、吸収合併契約、新設合併契約、吸収分割契約、新設分割計画、株式交換契約または株式移転計画において定めた場合に限るものとする。

##### ( 1 ) 交付する再編対象会社の新株予約権の数

新株予約権者が保有する新株予約権の数と同一の数をそれぞれ交付する。

##### ( 2 ) 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の種類

再編対象会社の普通株式とする。

##### ( 3 ) 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数

組織再編行為の条件を勘案のうえ、上記 3.( 1 ) に準じて決定する。

##### ( 4 ) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

交付される各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、組織再編行為の条件等を勘案のうえ、上記 3.( 2 ) で定められる行使価額を調整して得られる再編後行使価額に、上記 6.( 3 ) に従って決定される当該新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数を乗じた額とする。

##### ( 5 ) 新株予約権を行使することができる期間

上記 3.( 3 ) に定める行使期間の初日と組織再編行為の効力発生日のうち、いずれか遅い日から上記 3.( 3 ) に定める行使期間の末日までとする。

##### ( 6 ) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する

## 事項

上記3.(4)に準じて決定する。

### (7) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による取得の制限については、再編対象会社の取締役会の決議による承認を要するものとする。

### (8) その他新株予約権の行使の条件

上記3.(6)に準じて決定する。

### (9) 新株予約権の取得事由及び条件

上記5.に準じて決定する。

### (10) その他の条件については、再編対象会社の条件に準じて決定する。

## 7. 新株予約権にかかる新株予約権証券に関する事項

当社は、本新株予約権にかかる新株予約権証券を発行しないものとする。

## 8. 新株予約権と引換えにする金銭の払込みの期日

平成26年12月19日

## 9. 申込期日

平成26年12月8日

## 10. 新株予約権の割当てを受ける者及び数

当社の取締役、監査役及び従業員 42名 10,000個

当該付与対象者は、平成26年6月24日に発行決議した付与対象者以外の従業員、並びに、取締役及び監査役は、全役員に対して付与いたします。

以上